



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社ジィ・シー企画 上場取引所 東
コード番号 4073 URL <https://www.gck.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高木洋介
問合せ先責任者（役職名） 代表取締役副社長 経営管理本部長（氏名） 丸山英幸（TEL）043-464-3348
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期第1四半期の業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	536	3.6	△5	—	△13	—	△9	—
2024年6月期第1四半期	517	48.2	49	—	49	—	53	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	△3.74	—
2024年6月期第1四半期	21.49	21.14

（注）2025年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	1,675	404	24.2
2024年6月期	1,764	415	23.5

（参考）自己資本 2025年6月期第1四半期 404百万円 2024年6月期 415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,907	9.6	61	5.9	36	△19.5	34	△52.4	13.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期1Q	2,506,160株	2024年6月期	2,506,160株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	717株	2024年6月期	717株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期1Q	2,505,443株	2024年6月期1Q	2,495,999株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、インバウンド需要の回復や雇用・所得環境の改善等、各種政策の効果によって緩やかな回復基調となりました。一方、世界的な高い金利水準の継続等による景気の下振れリスクに加え、物価高騰や急激な為替変動等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス産業においては、多くの業界における人材不足の影響等を受け、デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みが進められており、あらゆる産業において、業務効率化・競争力強化を図るためのIT投資意欲は引き続き拡大していくことが見込まれております。

当社の主要な事業領域であるクレジットカード業界においては、経済産業省の特定サービス産業動態統計調査によると、クレジットカード業の取扱高は、前年の水準を引き続き上回り推移しております。

このような環境の中、当社はスーパーマーケット・ディスカウントストア等、小売業の新規・既存顧客を中心に、マルチ決済システムの導入、決済端末の販売、新たな決済手段やサービス開始の提案等を引き続き進めております。また、マルチ決済端末のサブスクリプションサービス「サクラ」の提供を進め、マーケットターゲットの拡大に引き続き取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は536,046千円(前年同四半期比3.6%増)となりました。積極的な研究開発を行ったことにより、営業損失は5,418千円(前年同四半期は営業利益49,285千円)、経常損失は13,420千円(前年同四半期は経常利益49,697千円)、四半期純損失は9,368千円(前年同四半期は四半期純利益53,641千円)となりました。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

(ペイメントインテグレーション事業)

ペイメントインテグレーション事業は、受託開発は堅調に推移したものの、リプレース大型案件の影響があった前年同四半期に比べハードウェアやライセンス等のフロー売上が減少しました。

以上の結果、売上高は152,658千円(前年同四半期比43.9%減)、セグメント損失(営業損失)は13,039千円(前年同四半期は48,782千円のセグメント利益)となりました。

(ペイメントサービス事業)

ペイメントサービス事業のうち、決済ASPサービス、保守運用サービスの提供等はストック売上として計上されず。一部のサービスについて料金見直しを実施したほか、サブスクリプションサービス「サクラ」の大型契約に伴い、当第1四半期累計期間のサブスク端末のフロー売上が顕著に増加しました。

以上の結果、売上高は383,387千円(前年同四半期比56.3%増)、セグメント利益(営業利益)は30,737千円(同35.4%増)となりました。

(その他事業)

その他事業では、主に、ヘルスケアアプリの設計・開発・販売・サービスの提供(NUCADOCO事業)を行っていましたが、前第1四半期累計期間、当第1四半期累計期間ともに、売上計上に至らず、セグメント損失(営業損失)は23,116千円(前年同四半期は22,189千円のセグメント損失)となりました。

2024年8月14日開催の取締役会においてNUCADOCO事業を廃止することを決議し、8月31日に廃止いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて125,203千円減少し、1,391,381千円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産が66,993千円、リース投資資産が135,396千円増加した一方、現金及び預金が225,150千円、商品が103,581千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて35,852千円増加し、284,128千円となりました。これは主に、有形固定資産が2,390千円、無形固定資産が31,316千円、投資その他の資産が2,144千円増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ89,351千円減少し、1,675,509千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて51,047千円減少し、1,062,749千円となりました。これは主に、第1四半期に

においては賞与引当金の計上20,995千円があったことと、買掛金が3,173千円、契約負債が29,997千円増加した一方で、未払金が46,815千円、未払法人税等が3,657千円、預り金が7,459千円、未払費用が13,660千円、未払消費税等が33,621千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて27,663千円減少し、207,949千円となりました。これは主に、長期借入金が27,663千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ78,710千円減少し、1,270,698千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて10,640千円減少し、404,811千円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が9,368千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期業績予想につきましては、2024年8月14日に公表した業績予想から変更ありません。今後の動向を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断した場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	769,221	544,071
売掛金及び契約資産	323,539	390,532
商品	380,497	276,915
仕掛品	1,822	5,413
リース投資資産	720	136,116
その他	40,783	38,329
流動資産合計	1,516,584	1,391,381
固定資産		
有形固定資産	8,410	10,801
無形固定資産		
ソフトウェア	125,941	119,569
その他	64,087	101,775
無形固定資産合計	190,028	221,345
投資その他の資産	49,837	51,982
固定資産合計	248,276	284,128
資産合計	1,764,860	1,675,509

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,106	32,279
短期借入金	610,000	610,000
1年内返済予定の長期借入金	110,652	110,652
未払金	103,510	56,695
未払法人税等	6,231	2,573
預り金	31,061	23,601
契約負債	139,920	169,918
賞与引当金	—	20,995
その他	83,315	36,033
流動負債合計	1,113,797	1,062,749
固定負債		
長期借入金	235,612	207,949
固定負債合計	235,612	207,949
負債合計	1,349,409	1,270,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	433,234	433,234
資本剰余金	316,834	316,834
利益剰余金	△334,447	△345,088
自己株式	△168	△168
株主資本合計	415,451	404,811
純資産合計	415,451	404,811
負債純資産合計	1,764,860	1,675,509

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	517,584	536,046
売上原価	321,527	380,210
売上総利益	196,056	155,835
販売費及び一般管理費	146,771	161,253
営業利益又は営業損失(△)	49,285	△5,418
営業外収益		
受取利息	2	59
為替差益	—	357
販売手数料	3,002	85
雑収入	17	249
営業外収益合計	3,023	752
営業外費用		
支払利息	1,376	2,418
為替差損	4	—
支払手数料	630	1,008
訴訟関連費用	599	5,318
その他	1	9
営業外費用合計	2,611	8,754
経常利益又は経常損失(△)	49,697	△13,420
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	49,697	△13,420
法人税等	△3,944	△4,052
四半期純利益又は四半期純損失(△)	53,641	△9,368

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	ペイメントインテグレーション事業	ペイメントサービス事業	その他事業 (注) 1		
売上高					
外部顧客への売上高	272,216	245,367	—	517,584	517,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	272,216	245,367	—	517,584	517,584
セグメント利益又は損失(△)	48,782	22,692	△22,189	49,285	49,285

(注) 1. その他事業は、ヘルスケアアプリの設計・開発・販売・サービスの提供、事業化を検討している新規ビジネス等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	四半期損益計算書計上額 (注)2
	ペイメントインテグレーション事業	ペイメントサービス事業	その他事業 (注)1		
売上高					
外部顧客への売上高	152,658	383,387	—	536,046	536,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	152,658	383,387	—	536,046	536,046
セグメント利益又は損失(△)	△13,039	30,737	△23,116	△5,418	△5,418

(注) 1. その他事業は、ヘルスケアアプリの設計・開発・販売・サービスの提供、事業化を検討している新規ビジネス等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	820千円	7,322千円